

学校長あいさつ

みくまの支援学校のホームページにお越しいただき、ありがとうございます。

本校は紀伊半島の東南端に位置し、太平洋・黒潮の影響を受けた、温暖で豊かな自然に囲まれた新宮市蜂伏の丘に平成2年開校しました。

肢体不自由と知的障害併置の支援学校で、本年度は小学部40名、中学部17名、高等部32名の合計89名の児童生徒が在籍しております。通学区域は広く、和歌山県南部の新宮市、田辺市本宮地区、那智勝浦町、太地町、古座川町、串本町、北山村から子供たちは通っております。

開校当時より学校教育方針に「生きぬく力・豊かな心」を掲げ、児童・生徒一人ひとりの障害や特性、発達の状態に即して、系統的かつ綿密な教育計画を立案し、子供たち一人ひとりの主体性を重んじ、発達の可能性を最大限に引き出し、社会の中でたくましく生きぬく力と他を思いやる豊かな心を育てることに努めて参りました。

また、学校・家庭・地域が連携して、子供の命を守る防災の取り組みにも力を入れております。様々な防災教育を行うことによって教職員の対応能力向上や子供たちの生きぬく力、地域とのつながりなどを図っております。

さらに、新宮・東牟婁地域における特別支援学校としてのセンター的機能を発揮し、地域の学校や関係機関と共に学び、高め合える相互往還の充実を図りたいと考えております。そして、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える共生社会の実現に寄与したいと思っております。

教職員一同、子供のことを中心に据えて精一杯取り組んで参りますので、今後ともご理解、ご協力をお願いいたします。



防災キャラクター
みくまじろ

令和3年4月

和歌山県立みくまの支援学校
校長 榎本 貴英